



2学期のスタート

今日から2学期が始まりました。夏休みの間立ち入れなかった校舎に、子どもたちの元気な姿がもどってきました。子どもたち一人一人、長い休みをどのように過ごしたかその経験は異なりますが、それぞれに頑張ったことを2学期の学習につなげてほしいと思います。

昨年度から着工した校舎の大規模改修工事も完成し、これからは新しくなった特別教室を使用することができます。中庭や駐車スペースもきれいにアスファルト舗装されました。最終の検査や細かな仕上げが残っていますので、しばらくは工事車両等の出入りはありますが、本当に暑く過酷な環境の中、2学期に間に合うよう休みなく作業に従事いただいた多くの工事関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

さて、2学期は授業日数も多く、日々の学習に加え、スポーツフェスティバルや学習発表会等、様々な行事があります。その中で、一人一人の子どもたちが自分の持ち味を発揮し、力を伸ばせるようにするためには、目標をしっかりと持って取り組むことが必要です。ここで「3人のレンガ職人」という寓話を紹介したいと思います。

旅人が、建築現場で作業している人に「何をしているのか」と質問した。

一人目の作業員は「レンガを積んでいる」と答えた。

二人目の作業員は「壁をつくっている」と答えた。

三人目の作業員は「大聖堂をつくっている。神を讃えるためにね」と答えた。

(「もの見方が変わる座右の寓話」戸田智弘著 ディスカヴァー携書より引用)

何かに取り組むということは、必ず目的があるはずで、その目的を意識しているか、理解しているかによって、意欲や努力の有り様は変わってきます。例えば、漢字練習はどうでしょうか。ノートに漢字を書くことは目的ではありませんし、漢字テストで満点を取ることも目的ではありません。多くの漢字を知っていればどのような良いことがあるのでしょうか。それを実感できれば、きっと日々の漢字練習に向かう意欲や方法も変わってくると思います。多くの取組を自分を高めることに繋げるには、「やらされている」のではなく「やりたい」と思える気持ちが何より大切です。子どもたちが主体的に意欲的に学べる2学期にしていきたいと思います。

残暑厳しい中でのスタートとなります。熱中症の予防、コロナの感染対策等を講じながら進めていきたいと思っておりますので、ご家庭におきましても、子どもたちの健康管理につきましては十分ご留意ください。

保護者の皆様、地域の皆様には、校舎改修工事に関わり、ご迷惑をおかけしたことも多々あったかと思っております。お詫び申し上げますとともに、2学期もご理解とご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 眞理子

新しくなった特別教室



改修工事を終えた特別教室です。きれいに整備された校舎内をぜひ、保護者の皆様にも見ていただければと思います。8月31日(水)～9月2日(金)の間、放課後(16時～18時半まで)見学可能としています。2階職員室に声をかけていただき、自由に校内を見学していただいて結構です。保護者名札を着用の上、校舎にお入りください。